

サニタリースON・OD取扱説明書

このたびはサニタリースON・ODをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にかならずよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に
保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止する
ためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
- 注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

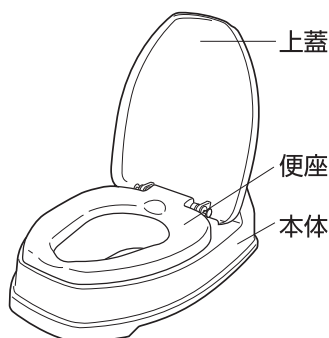
- 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。
- してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告	
	製品は絶対に分解、改造しないこと 強度が落ち、破損やけがの原因になります。
	使用前には各部を点検し、確実に設置できているか、 ぐらつきがないか確認したうえで使用すること
	【据置式の場合】 特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒ の方は、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固 定すること 転倒やけがの原因になります。
	本体、便座がヒビ割れした場合は使用しないこと 破損し、けがの原因になります。

注意	
	便座の縁に腰をかけると便座が浮くことがあるので注 意すること
	使用者の身体状況によっては、介助者が付き 添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジ ャーなど専門家に相談すること
	体重が100kgを超える方は使用しないこと 製品が破損し、けがの原因になります。
	落としたり、強い衝撃を与えないこと 破損し、けがの原因になります。
	上蓋の上には座らないこと 破損し、転倒やけがの原因になります。
	上蓋にもたれたりよりかからないこと 破損したり転倒し、けがの原因になります。
	上蓋につかまって立ち座りしないこと 上蓋が破損したり、本体が動き、転倒やけがの原因に なります。
	直射日光に当てたり、ストーブなど火気 を近づけないこと プラスチックが劣化したり、火災や変形 の原因になります。
	踏み台として使用したり、子供・幼児を遊ばせるなど、 他の用途では使用しないこと
	【ODの場合】 上蓋・便座を開閉時に手で無理やりおさえたり、押し上 げたり、乱暴に扱わないこと ダンパーが破損したり、正しく作動しなくなります。

各部のなまえ

両用式



据置式



各部のなまえ

仕様

品名	サニタリエース ^{ON} _{OD} 両用式		サニタリエース ^{ON} _{OD} 据置式	
材質	本体・上蓋・便座	ポリプロピレン	本体・じょうご・上蓋・便座	ポリプロピレン
	脚ゴム	スチレン系エラストマー	脚ゴム	スチレン系エラストマー
寸法	幅40×奥行60×高さ20cm (便座までの高さ13cm)		幅37×奥行58×高さ40cm (便座までの高さ39cm)	
重量	約2kg		約4kg	

- ODには、便座・蓋が静かに閉まるダンパー機構が付いています。
- 抗菌加工便座を使用しています。

付属品 ●O型便座カバー（ODのみ）

取り付けかた



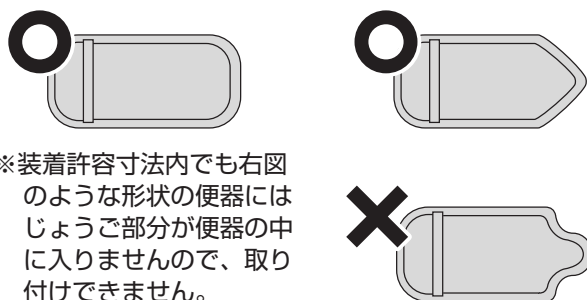
使用する際、動作は身体の安定を確認しながら、ゆっくり行うこと

両用式

- 段差のある和式トイレでお使いください。
便器の形状と装着許容寸法、洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離を確認してください。



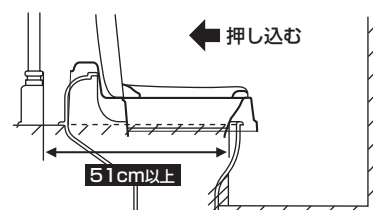
取り付け可能な便器の形状



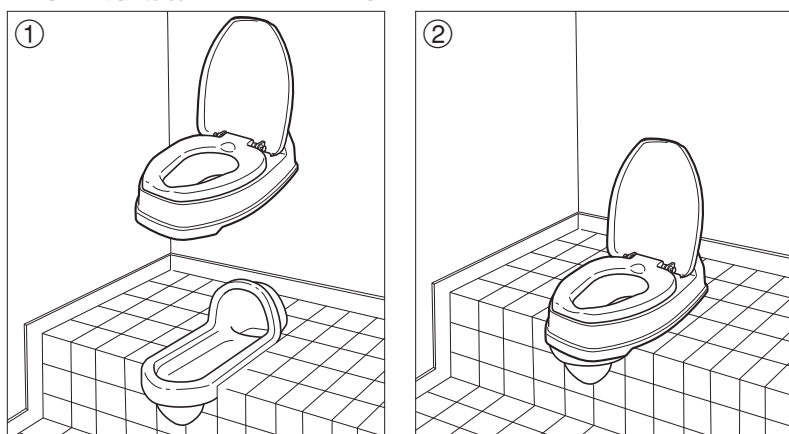
※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器にはじょうご部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離

本体を奥に押し込んだ状態で寸法を確認してください。

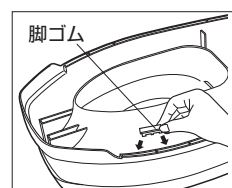


●和式便器にかぶせて置きます。



※本体は、できるだけ奥に押し込んだ状態でお使いください。

※本体を安定させるため、本体裏側についている脚ゴムを床に当たる位置に差し替えてください。（4か所）



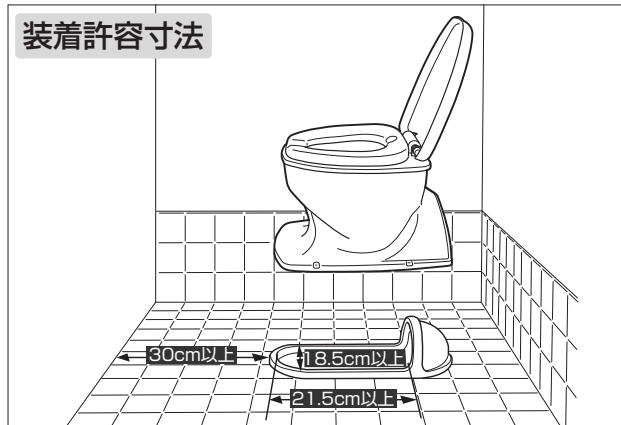
※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

取り付けかた

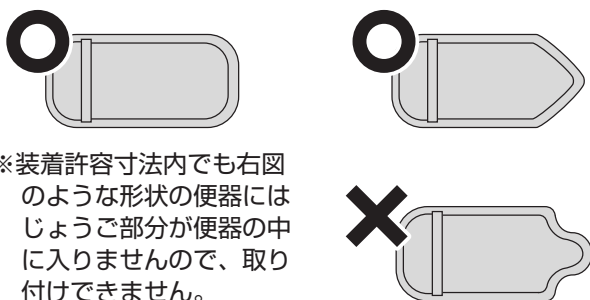
据置式

- 段差のない和式トイレでお使いください。
便器の形状と装着許容寸法、洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離を確認してください。

装着許容寸法



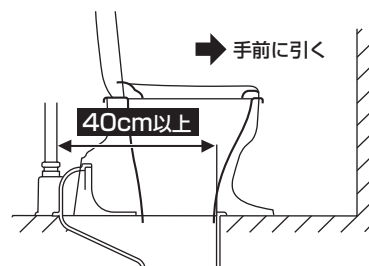
取り付け可能な便器の形状



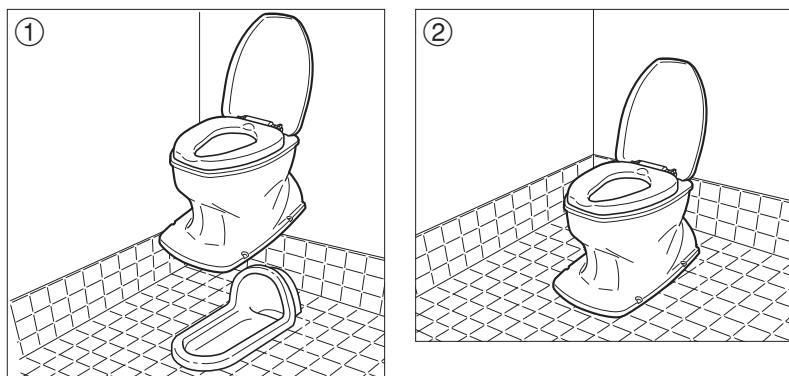
※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器にはちょうど部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

洗浄管またはフラッシュバルブまでの距離

本体を手前に引いた状態で寸法を確認してください。



- 和式便器にかぶせて置きます。



※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。
外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

- 本体が動かないように、床面にネジで固定できます。



特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方は、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること

- 1 固定に使うネジ4本を準備します。

床が木の場合

→ M6（首下長さ50mmまで）の木ネジを準備してください。

床がコンクリートあるいは
タイル貼りの場合

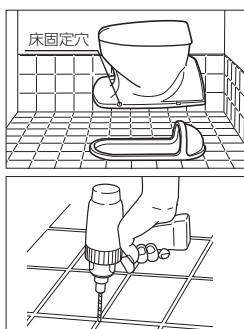
→ M6（首下長さ50mmまで）のコンクリート用ネジ（アンカーボルトやプラグなど）を準備してください。

- 2 本体を仮置きし、固定穴の位置を決めます。

①本体下部の開口部にある方を、和式便器のふくらみ（キンカクシ）にかぶせ、安定する位置に仮置きします。

②床固定穴の中心部に合わせて床に印をつけます。（4か所）

※床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。
必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴を開けるようにしてください。

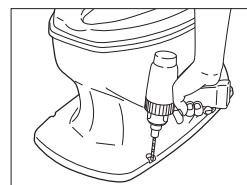


- 3 下穴を開け、ネジで固定します。

・下穴の深さは50mmまでにしてください。
・下穴の大きさ、およびネジの固定方法は、準備したネジに合わせて行ってください。

※下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからネジ締めしてください。

※強く締めすぎると、本体を破損することがあります。

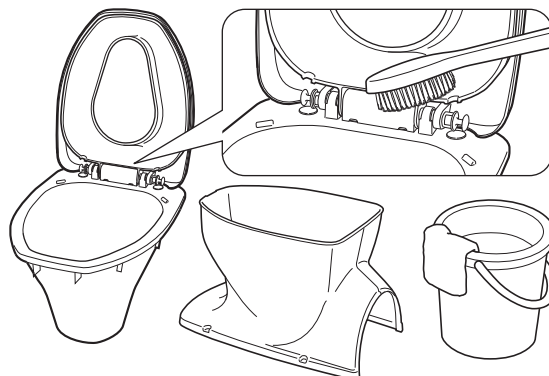


お手入れの方法

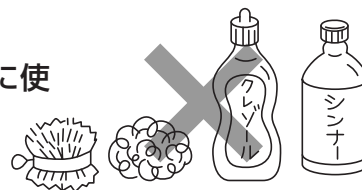
- 1** 汚れはスポンジかやわらかい布に中性洗剤をふくませてからふきとってください。



- 2** じょうご部分は本体から取り外せます。上蓋・便座の軸部分は毛足のやわらかいブラシで洗ってください。



※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
 ※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
 プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



■便座カバーについて（以下のことを参考にお選びください）

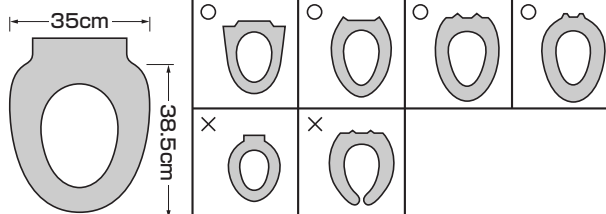
ご注意

[ODの場合]
 蓋カバーはダンパー機能に支障をきたす恐れがありますので使用しないでください。

〈便座〉

便座には下図（○印）の形状用の便座カバーが使用できます。

概要寸法



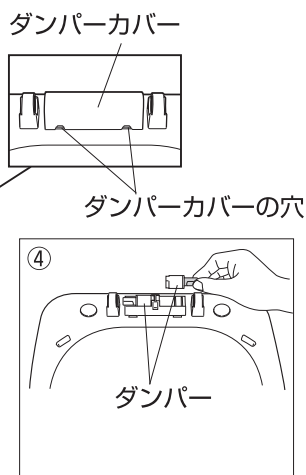
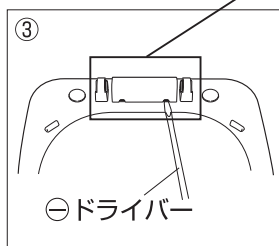
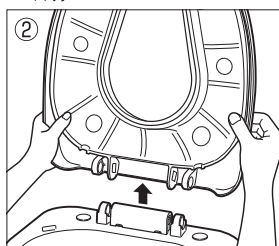
お手入れの方法

ダンパーの交換のしかた（ONの場合はダンパーは入っていません）

用意するもの「⊖ドライバー」

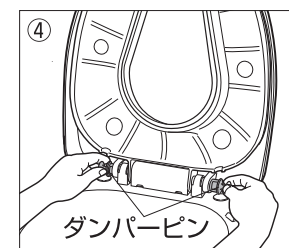
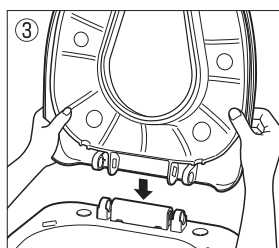
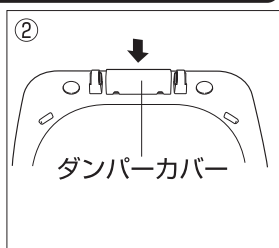
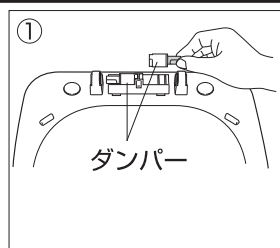
上蓋・便座・ダンパーなどを取り外す

- ①図のように上蓋と便座をあげ、ダンパーピンを引き抜く。（左右2か所）
- ②上蓋と便座を取り外す。
- ③ダンパーカバーの穴に⊖ドライバーを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
- ④ダンパーを取り外す。（左右2か所）



※ダンパーピンが外れにくい場合は、上蓋・便座を前後に少し動かしながら引き抜いてください。

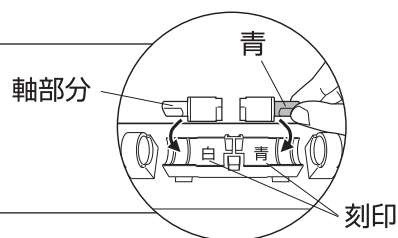
上蓋・便座・ダンパーなどを取り付ける



- ① **ダンパーの向きを確認**し、本体にセットしてください。

ダンパーの向きを確認

- ・ダンパーの色と本体の刻印を合わせてセットしてください。
- ・ダンパーの向きをイラストのように軸部分がタテになるようにセットしてください。



- ②ダンパーカバーを取り付ける。（ダンパーカバーに前後はありません）
- ③④上蓋と便座をあげた状態で取り付け、**ダンパーピンの向きを確認**し、差し込む。

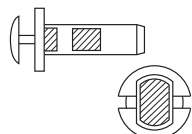
※上蓋・便座ともにあげた状態でダンパーピンを差ししてください。

※ダンパーピンがはまりにくい場合は、上蓋・便座を前後に少し動かしながら差し込んでください。

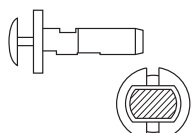
ダンパーピンの向きを確認

ダンパーピンの向きを確認

タテ向き



ヨコ向き



便座を上げた状態で取り付ける

ダンパーピン左：タテ
右：タテ



もしくは

便座を下げた状態で取り付ける

ダンパーピン左：ヨコ
右：タテ



もし、ダンパーピンが差し込めない場合は…

側面からダンパー軸の穴をのぞいて
ダンパー軸 **便座の軸穴**
ダンパーピン の向きを
そろえてピンを差し込んでください。



保証とアフターサービス よくお読みください

■修理を依頼されるとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。
ただし、電気部品の機能を維持するために必要な補修部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。

保 証 書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
 2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
 3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
 - 4) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 5) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 6) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 7) クッションやすべり止めなど消耗品の損傷及び汚れ。
 5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 6. 電気部品の機能を維持するために必要な補修部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
 7. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- <個人情報の取扱いについて>
- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
 - 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	この保証書はご使用できません		
保 証 期 間	お買い上げ日より1年		
お 客 様	ご住所 〒		
	ご芳名	TEL	
★販売店	住 所 〒		
	店 名	TEL	

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入のない場合は直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。

修理・お取扱いなどのご相談は、まずお買い上げの販売店にお申し付けください

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

12.03

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室
フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元

 **アロン化成株式会社**
ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL (03) 3502-1448

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>